

題字
相田コマ
初代女性部長

女性部だより

調布市商工会女性部

〒182-0026
調布市小島町 2-36-21
TEL:042-485-2214

Withコロナ時代と向き合って!!



女性部長 大竹 勝子

二〇二〇年一月、我々女性部の新年賀詞交歓会並びに三十五周年という節目の年を来賓の皆様と共に祝うことが出来たのがすごく遠い日の事の様です。

この後は毎日マスク生活が始まりと共にステイホーム生活も多くなり、あらゆるところで検温・消毒、外出から戻ったら手洗いうがいとなり、女性部の諸事業も次々と中止となりました。

七月の都女連の関東ブロック大会長野大会は二〇二一年に延期、又二〇二〇年オリンピック・パラリンピックも二〇二二年開催となりました。

新型コロナウイルスも感染者が世界中でパンデミック状態になり、日本は世界に比べたら数字は低いですが、日に日に感染者の増加が大きくなり、社会が変化しようとしています。

今までの当たり前前の日常がいかに幸せな日常だったのかと痛切に感じつつ、どこに行くにもまずマスクです。二〇二〇年オリンピックが七月二十三日に人数制限、縮小、ソーシャルディスタンスをしながら開会されました。この大変なコロナ禍で、アスリートの活躍にテレビに釘付けになった日々、ステイホーム中の楽しみでもありました。又、八月二十四日からパラリンピックが開催、本当に感動をありがとうございます！

十月に入り、少しばかり新型コロナウイルスが減少気味になり、ようやく第一回役員会が出来、委員会の編成が出来ました。商工まつりは式典のみの開催となりました。ビデオで女性部のふみ焼を焼いている元気な部員の姿を見て、すごく懐かしく感動しました。一日も早くこんな日が来る事を心から願います。

又、都女連の全国大会は前年度から延期となり、令和三年十月十九日〜二十一日だったのが再度の延期となり、令和四年二月十五日になりました。

十一月の多摩川クリーン作戦では、新任幹事の方にも参加頂き、終了後にお茶をすることが出来、話にも花が咲いた様で、女性部の明るい一面が感じられた時間でした。

新型コロナウイルスの終息の兆しが見られましたが、令和四年、新年と共にオミクロン株がものすごい勢いで猛威を振るい始め、感染者が急増し、本当にいつまで続くのかと感じました。長引くコロナ禍で人々の心が疲れ切っている今、令和四年二月一日、女性部の新年賀詞交歓会は、クレストンホテルのご協力のもと、テーブルマナーを企画していましたが、オミクロン株の猛威には勝てず、残念ながら中止。新年のスタートに、という思いもありましたが、残念な結果となってしまいました。

今年もオミクロン株一色かと思いきや、今度はウクライナとロシアの戦争が勃発、ニュースが連日、この話題となり、心の痛い出来事ばかりです。幼い子供、老人がいつも犠牲者です。日本も対岸の火事とは思えないはず。今後色々な事が生活にも影響するかもしれないです。私達女性部が一丸となって今出来る事を考えたいと思います。この紙面をお借りして、今後共女性部へのご協力を心からお願ひ致します。

新型コロナウイルスに負けないお店、会社に!!

SDGsについても考えましょう。



第三十六回 通常部員総会

令和三年度調布市商工会女性部第三十六回通常部員総会につきましては、未だ続くコロナウイルス感染症の影響により本年度も下記の通り書面での開催となりました。

日 時…令和三年四月二十三日
開催方法…書面

部員総数…百三十七名に対して賛成百二十五名

議 案

第一号議案…令和二年度事業報告並びに収支決算報告承認について

第二号議案…令和三年事業計画並びに収支予算決定について

第三号議案…任期満了に伴う役員選任について

以上の議案が上程され、各議案とも可決されました。紙面後掲にて、新任役員の皆様のご紹介をさせていただきます。



多摩川クリーン作戦(春)



四月十一日(日)午前八時。

たくさんの方が集合し、多摩川クリーン作戦が始まりました。コロナ禍の中、こんなにも人が集まり少し不安にもなりましたが、屋外ということもありなるべく離れて作業に当たりました。

何度か参加してきたのですが、多摩川は本当に清掃が行き届いているのか、個人個人がゴミを捨てないという意識が高いのか、今回もゴミはあまりありませんでした。

これだけたくさんの方が集まるといふ事も調布の方々の美に対する気

持ちが高いということなのでしょう。もつと多くの人に伝えていければ良いと思います。

石毛 由佳

関東ブロック商工会 女性部交流研修会

六月二十四日、長野県で関東ブロック商工会女性部交流研修会が開催されました。コロナウイルス拡大防止の為、現地での参加は発表者と関係者数名と制限があり、私達は調布市商工会館にて大会のライブ配信を視聴しました。

又、例年ですと特産品の出店が会場を盛り上げていますが、今回は「通販カタログ」が用意されました。酒、木工品、ジャム、スウィーツ等、長野県自慢の商品がお取り寄せできます。

さて、開会式の後、各都県代表十一名の発表がありました。いくつか紹介させていただきます。

最優秀賞 山梨県南部町商工会

特産は、お茶、筍、生姜の町。質の高い大生姜の生産に挑戦し、試行錯誤しながらジャムや佃煮、シロップ等の商品開発をした。道の駅での対面販売、そしてレシピ本も作りTVやラジオでもとりあげられた。「南

部美人ジャー」としてブランド力を増すよう活動している。

優秀賞 東京都瑞穂町商工会

狭山茶の産地。二十八年間春秋二回、老人福祉施設の窓ふきボランティアを実施。忙しい中でのつらい仕事だが、入居者とのふれあいが自らを見つめなおす機会となっている。新規事業をたちあげるより継続の重みを実感している。

優良賞 静岡県浅羽町商工会

「自分の町を知らずに街づくりは出来ない」ベトナム支援に貢献した医師 浅羽佐喜太郎氏について勉強し、その後ベトナム料理の教室を開いたり、産業祭でフオーや生春巻の店を出したり活動の場を拡げている。

そして、惜しくも入賞できなかった方々の発表でも貴重な経験や活動を聞かせて頂き刺激を受けました。

- ・結婚事業のお手伝い
- ・笑いヨガを学び様々なところで講習会を開く
- ・コロナ禍において、ホームページを作って情報発信し新規会員を獲得した

・シニア世代に輝いてほしい!色とりどりのドレス、ヘアメイク付きのフォトサービスを企画。

最後に、「観客の応援があつたので頑張れた!!」と多くの代表が言

う通り、生の声援は素晴らしいものです。次回は会場で応援できるようにお祈りしています。

石井 恭子



六十周年記念式典

調布市商工会では、令和三年十一月二十四日をもって六十周年を迎えました。

それを記念して、記念事業及び記念式典を執り行いました。

記念事業は、十月九日（土）、十日（日）に調布市グリーンホール大ホールにて第六十六回調布市商工まつりと合同で開催を致しました。

六十周年を記念した楽曲の製作・動画の製作及び調布市商工会公式マスコットぐらんぷりを実施しました。

記念式典は、十一月二十四日（水）に調布クレストンホテル クラウンルームにて執り行いました。

式典では、ご来賓の長友調布市長、小林調布市議会議長とともに調布市商工会のこれまでの歴史を振り返りました。

歴代女性部長表彰として、山口英子相談役、内山たみ子相談役、根岸玲子相談役、松村徳子相談役、大竹勝子部長の五名が表彰されました。出席者の代表として、根岸相談役が代表受賞されました。

写真は、六十周年記念式典に出席された根岸相談役、松村相談役、大竹部長です。



第一回地域密着型研修会

第一回地域密着型研修会がWEBにて令和三年九月十日に開催されました。

テーマ 「危機管理×自然災害や新型コロナウイルスに負けない会社になる」

講師 中小企業診断士・気象予報士

柏崎 祐介 先生

災害とは何か？東京都で注意すべき災害（地震・大雨）、地球環境の変化に伴う災害（地球温暖化、コロナウイルス感染症）が、考えられます。

地震は、まず我々が居住している

地域の状態を知り、揺れ・斜面崩壊・液状化・津波の被害想定を知り、リスクを回避する対策の必要が有ります。発生の事前予測が出来ないことと、発災後の対策が出来ないことが特徴です。そのために事前に出る対策が重要であると思われました。

大雨は台風・長雨・線状降水帯による被害が考えられます。地元のハザードマップから最大被害想定を知る必要があります。ある程度事前の予測が出来ることと、発災後では対策が遅いことが特徴です。

コロナウイルス感染症はまさに現在直面している事柄です。「良く知り、正しく恐れ行動する」と言われたことがとても重要だと思われました。

地球温暖化については、変化を正面から捉え、極端な現象を増加することを考え、幅をもって経営リスクを捉える必要がある。

災害に対して自社に出来ることは何か？

「ヒト・モノ・カネ・情報」の視点に基づいて整理をすることが大切です。

最後に三・一一の実際の事例の教訓。「平時からの健全な経営があつてこそ、備えが生きる」

「二十年后を想定出来る会社が生き残れる」

【災害は不幸なのではなく、これをどう乗り越えるか？唯一生き残るのは変化出来るものだ】
 災害の危機管理は平時が如何に大切かという事を学んだ有意義な研修会でした。

美野 ひろ子

多摩川クリーン作戦(秋)



十一月十四日(日) 調布市主催の多摩川の美化活動に初めて参加しました。

雨予報も出ておりましたが、清掃日和の清々しい朝を迎えることがで

きました。富士山が美しく見える中、午前八時集合。

ピンクのジャンパーに着替え、清掃用具一式を受け取り、市長のご挨拶、担当の方々の諸注意を受け清掃開始いたしました。

一見ゴミは少なく感じられました。が、タバコの吸い殻、お菓子の袋、割れたガラス、草むらの中からは靴を収集しました。収集が終わわり、美しい多摩川沿いを見て、掃除をして良かったなと心がスッキリとしました。

収集結果として、可燃ゴミ二六〇kg、不燃ゴミ一〇〇kg、粗大ゴミ四〇〇kg、びん三十六本、カン二八四本、ペットボトル九三二本でした。

多摩川沿いを車で走ると、少年野球、ジョギングをしている方々を良く拝見します。皆が心地よく生活出来、環境の為に、収集ゴミの量の結果を見ていただき、一人一人のゴミを捨てない意識、そして行動の必要性を改めて考える必要があると思いました。

代々の先輩方が継続してくださつてます事に感謝するとともに、これからもこの活動を継続し、親しまれる美しい多摩川を維持できるよう切に願います。

大槻 聖子

第二回地域密着型研修会



十二月に入り寒気日増しに深まる中、東京都商工会女性部連合会のセミナーに参加しました。今回はzoomでの参加です。

一部は庭野勉氏による「地域を元気にするために地域資源を活用し女性部の組織力を活かして商品やサービスの展開しよう！」でした。

二部では三宅村、あきる野市、国立市、国分寺市の四つの地域資源活用の発表でした。中でも国分寺の女性部は、国分寺産のブルーベリーを使用した「こくぶんじベリー」を開

発から十五年様々なイベントで販売しており、ブランド認定され、更にふるさと納税の返礼品にもなっているそうです。

また、国分寺グルメという地元のお店を紹介する冊子も作成されるなど多方面の展開が素晴らしいと感じました。

相田 悦子

商工会女性部 全国大会inおおい

今年の全国大会は、二月十五日にリモート参加のみとなりました。全国六ブロックからの予選を勝ち抜いた、各代表者による十分間の発表で最優秀賞者を決定します。

九州ブロック・佐賀県の大町町商工会は「水害・コロナ・水害」と三年連続の大打撃にも負けず、前を向き、今年も十年前から女性部で始めた「サンタ事業」を行い、軽トララックにクリスマスツリーを飾り、皆で演出を考えたプレゼントを、心を込めて贈りました。「相手のことを思いやって、地域を元気づける」力が「女性部にはある」と強調しました。
 東北・北海道ブロック・利尻町商工会は、地元のご当地アイスとして、うに味・こんぶ味を開発し「愛

す利尻山」と名付け、女性部の皆の後押しや協力もあり、商品を開発する！という意気込みを強く感じました。地元愛に溢れ、地元を笑顔に！と頑張っている様子が良くわかりました。

中部ブロック・富山県庄川町商工会は、「ゆず」が有名で、「ゆず味噌ジェラート」を開発し、コロナ禍の中でも地元をPRしようと、You Tubeチームとゆず商品開発チームに分かれ、皆で話し合いを重ねて、昨年、三つの動画を配信、地域やゆず商品を紹介しました。

中国・四国ブロック・鳥取県三朝町商工会は、「人と笑顔」をテーマに、女性部をアピールする為、動画撮影を始めて、「会いに行ける美笑女・美笑女図鑑」をYouTubeにて配信させ、新しい挑戦を一つ一つ乗り越えて、地域を活性化させました。

関東ブロック・山梨県南部町商工会は、「南部生姜」の加工品の開発に挑戦し、「ジャムde生姜」・生姜シロップ「なんぶ美じんじゃー」を商品化しました。毎年十一月に実施する、道の駅などの販売は恒例行事です。小学校においても、校外実習を実施し、町内でも生姜を増産しようという、高まりがあり、町を活性化させました。

最優秀賞に輝いたのは、**近畿ブロック・福井県池田町商工会**の、第三の人生を目指して千葉から移住してきた杉さんです。未来の為、子供たちの「ジュニア部」を作って、子供たちが商売を体験する機会を作ろうと、女性部が新ジャガイモを煮付けて、「新コロ芋」を子供たちと一緒に販売しました。これからの春よこい！祭りでも、クレープやプリンの販売の準備をしています。お話がとてもお上手で、子供たちにビジネスを教えるべくこと々人づくりだと言ったことがよくわかりました。

それぞれの発表は、地域への思いが溢れていて、とてもパワーを感じ、また、女性ならではの感性が活かされた発表でした。

基調講演では、大分県庄内町で育った、義足のスプリンターの中西摩耶さん、「あきらめない心」でした。高校時代はソフトテニスでインターハイ出場するも職場で事故にあい、ソフトテニスの道はあきらめ、義足をして陸上競技に転向しました。二〇〇八年には渡米し、日米を往復する活動資金の調達にも苦しみながらも練習を続けて、二〇一九年世界パラリンピック陸上競技選手権に、走り幅跳びで金メダルを獲得しました。東京パラリンピックでは六位でしたが、パリを目指すとのこと

です。アメリカで学んだ「失敗しない時は挑戦しない時」「かなわない夢はない、挑戦し続けることを motto に、どこまでもあきらめない心の強さを感じました。

令和四年度の関東ブロック大会は七月に山梨県河口湖で開催予定、全国大会は、十月に宮城県仙台市で開催予定です。コロナが少しでも収束して、これから元気に笑顔で楽しく、女性部が活動できることを願っています。

北川 由紀子



部員増強

昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい経済環境の中、

調布の事業者は互いに手を取り合いながら頑張っています。

調布市商工会女性部にとっても厳しい環境は例外ではなく、廃業などの理由から、平成十年度の二百三十六名をピークに減少の一途をたどり、本年度初めには百三十七名となりました。商工会女性部は互助の組織です。部員数の減少をこのまま許せば、支えあいの力を徐々に失い、女性部そのものだけではなく、歴代の女性部員が担ってきた調布の街の賑わい自体が活気を失ってしまうことになりかねません。未来に向けた女性部発展のため、新しい部員を広く募集し、女性部の輪を広げていくことを目的として、役員を中心に部員増強運動に取り組んでいます。しかしながら、役員だけではなく、調布市商工会女性部一丸となつて部員増強を行うことが必要です。かつての女性部の活気を取り戻すだけではなく、一人一人の輪を大切に互いを助け合うことが必要だと考えております。

女性部加入は随時受付をしておりますので、ぜひご紹介いただき組織活性化にご協力くださいませ。連絡は事務局または地域振興委員までお願い致します。

新任幹事



新任幹事に選出されました、山本美枝子です。

コロナ禍の中、商工会の活動が自由にできず残念に思っております。私はジュエリーの修理・リフォームをメインに二十五年以上仕事をしておりますが、コロナの影響で新たにインターネットビジネスでの販路を見つけ、全国のお客様よりご注文をいただいております。大勢のお客様より仕上がったお品物を見て、「注文してよかった」という温かいお言葉をいただき、日々の励みになっております。

感染が収束しましたら、女性部の幹事として務めを果たしたいと思っております。

これからどうぞよろしくお願い致します。



この度、商工会女性部の幹事をさせていただきます。この小田金きよみです。幹事の事は初めてで、至らないこともあるかと思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。



この度、商工会女性部に入会させていただきます。大槻聖子です。調布という街をしつかりと繁栄させ、そして皆様が心地よく生活出来るように、女性部として出来る事などを皆と協力して頑張っていきたいと思っております。宜しくお願い致します。



新任幹事に選出されました、佐藤啓子です。

私の父は深大寺、母は国領、そして私は生まれてからずっと国領に住んでおります。

調布も色々様変わりをしました。三十年近く、美と健康・安全・環境を考え、常に人との交流を大切にやっております。

どうぞよろしくお願い致します。



新任監査に選出されました、桜井朝子です。

広報誌作成は、広報委員だけで作成するのではなく女性部の皆様の協力も必要です。写真掲載や感想文を依頼することがありますが、その際には是非ご協力をお願いします。

編集後記

今回も皆様のご協力を頂き、発行することができました。広報委員全員、無事お届けできてホッとしています。コロナ禍の今、色々お忙しい中原稿をお寄せ頂きました皆様、ありがとうございます。

広報委員長 北川由紀子
 副部長 美野ひろ子
 桜井 朝子
 中島 洋子
 鈴木あゆみ
 白井 久美

